



コオニビシ		<i>Trapa natans</i> L. var. <i>pumila</i> Nakano ex Verdc.	絶滅危惧I類
			ヒシ科
選定理由	生育地が限定されており、大部分の生育地で個体数の減少が著しいため。		写真(岐阜県博物館) 標本
形態の特徴	植物体はヒシと同じかやや小さく、大きめの葉の葉身は長さ1.7-4.5cm、幅1.7-6cm、鋸歯は7-13対、幅の方がやや大きい。葉の裏面には軟毛を密生するが、実生個体の中には殆ど無毛の個体もみられる。花期は7-10月。花柄や萼片は有毛。果実の刺は4本で、全幅は2.5-4cm。		
生態的特徴	湖沼、溜池、水路などに生育する一年生の浮葉植物。		
分布状況	国内の正確な分布は不明であるが、全国に分布するとされている。岐阜県では県南西部に分布する。		
減少要因	水辺環境の改修工事、増水による河道の変化、水質悪化。		
保全対策	開発行為からの生育環境の保全。		
特記事項			
参考文献	角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.		

文責: 清水英彦